TOWA KOSAN OIL Tech. & NEWS

Vol.82　2026年10月1日

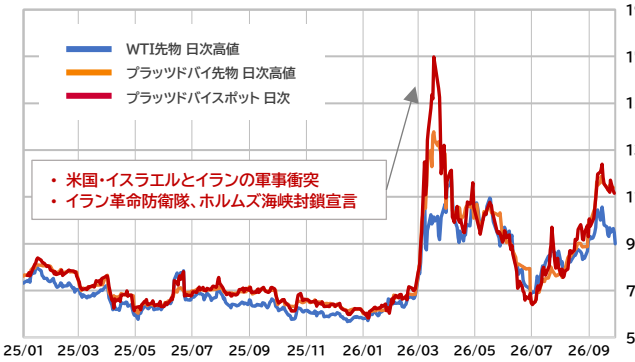
平素は弊社商品をご愛顧頂き、誠に有難うございます。
また、「TOWA KOSAN OIL Tech. & NEWS」をご愛読頂き、重ねて御礼申し上げます。
本号では中東情勢に関連する基油動向やBCP対応に加え、ETCカードのご紹介をさせていただきます。

TOPICS

- 原油環境の想定
- Gr.Ⅲ基油の動向
- 燃料油のBCP対応について
- ETCコーポレートカードのご紹介

原油環境の想定

	上昇要因	下落要因
需給	・サウジ東西パイプラインの完全復旧には時間を要し、供給懸念が残る	―
金融経済	―	・米利上げ実施に伴う景気減速懸念
地政学	・米・イラン間の緊張継続	・米・イランの和平協議進展期待



単位:ドル/バレル

Comment

中東主要産油国の9月原油輸出量は、2月の戦争開始以降で最高水準となる見通し。ホルムズ海峡経由の輸出回復が寄与したと報じられている。
一方、米・イランの和平協議はなお膠着しており、足元では米国がイランの停戦・ホルムズ海峡再開案を拒否したことで原油価格が上昇。
協議の進展が見られるまでは、地政学リスクを背景に高値圏で推移する可能性がある。

Gr.Ⅲ基油の動向

Gr.Ⅲ基油とは

潤滑油基油は精製度によって分類されており、Gr.Ⅲ(+)は主に省燃費性やロングライフ性が要求される油剤に使用されています

高精製度

API分類	飽和分	硫黄分	粘度指数	精製方法例
Ⅰ	90%以下 and/or	0.03%以上	80≦～＜120	溶剤精製法
Ⅱ	90%以上	and 0.03%以下	80≦～＜120	水素改質法
Ⅲ	90%以上	and 0.03%以下	120≦	水素改質法＋異性化脱ろう
Ⅲ+			130≦	
Ⅳ	PAO(poly-α-olefin)			化学合成
Ⅴ	Ⅰ～Ⅳ以外			

代表的な対象油剤

- **省燃費エンジンオイル**
  (0W-16や0W-20など)
- **高引火点油・高粘度指数油**
  (油圧作動油・切削油などの高機能品)

世界のGr.Ⅲ基油生産

国内元売りでもGr.Ⅲ基油を生産しているものの、輸入品への依存度も高い状況です。
Gr.Ⅲ基油は生産企業・地域の集中度が高く、SK Enmove、S-OILの韓国2社と、Pearl GTL(Shell／QatarEnergy・カタール)ADNOC(UAE)Bapco(バーレーン)の中東主要3社を合わせると、世界のGr.Ⅲ基油供給の約6割を占めるとみられます。
※このほか、PETRONAS、Chevron(NEXBASE)、GS Caltexなども主要なGr.Ⅲ基油供給企業です。

中東情勢影響と元売り各社の対応

Gr.Ⅲ基油の供給制約・価格高騰を受け、元売り各社が対象商品の価格ルールを変更

- 中東紛争により、主要なGr.Ⅲ基油供給拠点で設備損傷や操業停止、物流制約が発生(Pearl GTL、ADNOC、Bapco)
- Pearl GTLでは2つある生産ラインのうち1つが損傷し、完全復旧には約1年を要する見通し
- 主要供給拠点の供給制約により需給バランスが大きく崩れ、世界的なGr.Ⅲ基油の供給不足が発生
- 2026年3月以降、国際市況の指標となるICISのGr.Ⅲ基油価格が大幅に上昇し、原油CIF価格との価格差(スプレッド)が拡大
- 市場構造の変化を受け、元売り各社が対象油剤について、従来の原油CIF連動とは異なる価格ルールを導入
- Gr.Ⅲ基油の供給制約が長期化した場合、原油価格が落ち着いてもGr.Ⅲ基油価格は高止まりする可能性

燃料油のBCP対応について

中東情勢によるエネルギー調達リスク

アメリカとイランの軍事衝突により、ホルムズ海峡の安全確保に対する懸念が高まり世界および日本のエネルギー調達リスクが改めて浮き彫りとなりました。
特に本年3月以降、国内においても産業用燃料油の供給不安や価格上昇が顕在化し平時からのBCP対応の重要性が再認識されています。



国内の産業用燃料油調達への影響（本年3月以降）

石油元売り系　産業用燃料油

前年実績100%で供給を維持

- 安定した供給体制により前年並みの供給を確保

商社系燃料油

価格が高騰し、一時供給が滞る

- 元売りと比べ価格が高騰
- 一時的に供給が滞り、その後も数ヶ月に及ぶ供給制限が継続

LPG（液化天然ガス）

必要な供給量を確保

- 調達エリアの分散化が進み、必要な供給量の提供を行うことができた

東和興産からのBCP対応のご提案

出光興産供給コードの取得と定期購入

- 以前と比べ商社系燃料油との価格差が小さくなりました。
- 有事の際の供給力に大きな違いがあります。
- 供給コードを持ち、平時から定期的な購入を行うことでリスクが軽減できます。

アストモスLPGへの燃転

- 重油をはじめとするボイラー燃料をLPGへ転換することで、有事の際のリスク対応につながります。
- 有事の際の国家備蓄も、都市ガス（LNG）と比べ多く備えています。

「有事になってから供給先を探しても手遅れになるケースが少なく有りません。
平時から購入実績を確保しておくことが、最大のBCP対策です。」

ETCコーポレートカードのご紹介

えっ、こんなに高速料金が変わるなんて…

ETCカードを変えるだけで、年間の高速代がこれだけ変わります

【 小売業A社 】 車両台数5台



年間削減額 **56.9** 万円

【 卸売業B社 】 車両台数11台



年間削減額 **81.5** 万円

【 卸売業B社 】 車両台数30台



年間削減額 **164.8** 万円

ーなぜ、こんなに削減できる？ー

理由1　カードの種類によって割引率が異なります。





ETCコーポレートカード



一般的なETCカード

	ETCコーポレートカード	一般的なETCカード
NEXCO 高速道路	最大40%割引	最大9.1%還元
首都高速	最大35%割引	割引なし
阪神高速	最大35%割引	割引なし

理由2　共同組合ごとに料金体系が異なります。

- コーポレートカードは「協同組合」を通して通常発行されます
- 実は組合ごとに割引・手数料が異なります
- 現在コーポレートカードをご利用中でも、十分コスト削減できる可能性がございます

現在ご利用の1ヶ月分のETC明細書をご提出ください！
『コスト削減提案』いたします！

☎ 03-5604-3312
東和興産株式会社
東京支社
FAX:03-5604-1053